



## 5 樹木配置

調布駅前広場におけるゾーニングや各種動線、イベント空間などの考え方を元に調布駅前広場の立地特性を加味して植栽樹種の候補を抽出する。

### ■ゾーニングの観点に基づく樹木配置

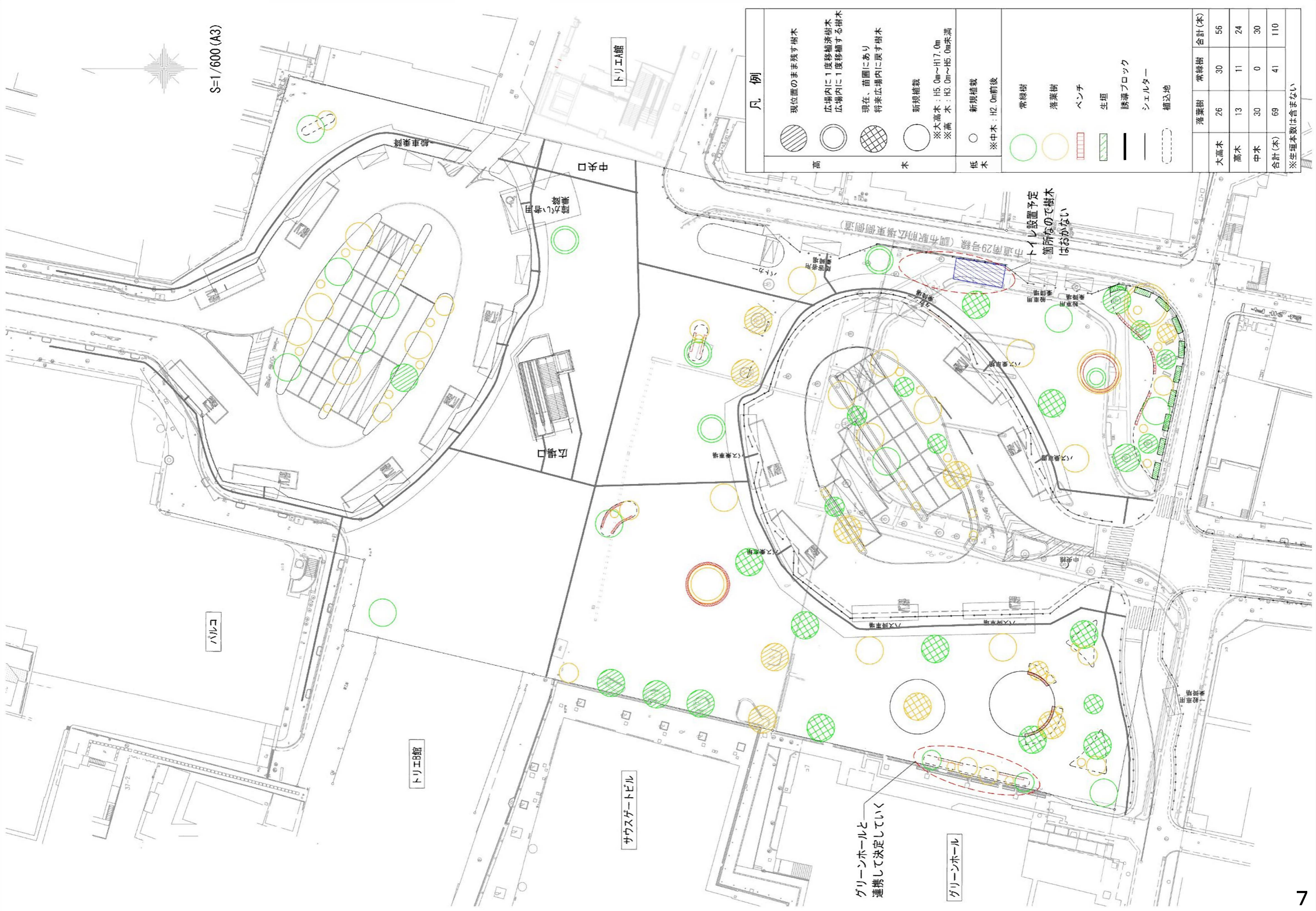
イベント空間	トリエB館前には、イベント会場として妨げにならないようあまり配置しない。 サウスゲートビル前には、広場の各所から大ケヤキが望めるよう配置し、イベントの空間を確保できるよう周りを囲うように樹木を配置。
中央口前	広場の大ケヤキが見えるように樹木配置をしつつも、木陰を創出するための高木を設置。その木陰にはベンチを設置し、憩える空間に。
グリーンホール前	バス降車場付近（北側）には、イベント時の会場としても利用できるよう、外側に多めに樹木を配置。 バス降車場付近（南側）には、樹木とベンチを組み合わせ、木陰で家族や友人と憩えるよう配置。
一般車乗降車場付近	樹木に囲まれ憩えるよう、樹木を多めに配置し、その木陰にはベンチも設置。 また、周辺の景観にそぐわない建物を緩やかに分節するように植栽と生垣を配置。
南側横断歩道前	横断歩道前付近にビルが複数存在するため、ビル風をよけられるよう配置を厚くしている。
交通島	広場との景観のバランスをとるため、樹木を配置。 また、バスやタクシーなどの運転の妨げにならないよう樹種を考慮。

### ■植栽のコンセプト：武蔵野林

照葉樹林帯であった関東平野が、人々の営みとともに「武蔵野林」と呼ばれる樹林地帯が形成されていった。その武蔵野林のイメージに調和した樹種選定を行う。

選定する樹種	説明
自生種	関東圏に自然分布している樹種。また、移入植物でも日本に定着し久しく、調布市内でも頻繁に見かける品種も、彩を加える樹種として選定する。 例) クヌギ、シラカシ、クロガネモチ、ツバキ、ハナミズキなど
調布市ゆかりの樹木	調布駅前広場において「我が街」として、来訪者への「歓迎の意」を表現するため、ゆかりの樹種を選定する。 例) クスノキ、サルスベリ、ジンダイアケボノ
既存樹木	現位置のまま残されている樹木、広場内に移植済みまたは移植予定の樹木、苗圃へ移植済みで戻す樹木、合計39本（常緑樹5種、落葉樹8種）を活用する。 ■常緑樹…クスノキ、クロガネモチ、キンモクセイ、シラカシ、ヤブツバキ ■落葉樹…ウメ、ユリノキ、イチョウ、ケヤキ、サルスベリ、ノムラモミジ、ハナミズキ、ヒメシャラ
補完する樹木	上記の高木のほか、目に留まりやすく四季の移ろいを感じられる中木、低木、地被類を、植栽景観を引き立てる補完的な添景樹木として植栽する。

S=1/600 (A3)



**凡例**

	現位置のまま残す樹木
	広場内に1度移植済樹木 広場内に1度移植する樹木
	現在、苗圃にあり 将来広場内に戻す樹木
	新規植栽
	※大高木：H5.0m~H17.0m ※高木：H3.0m~H5.0m未満
	新規植栽
	※中木：H2.0m前後
	常緑樹
	落葉樹
	ベンチ
	生垣
	誘導ブロック
	シェルター
	植込地

落葉樹		常緑樹		合計(本)
大高木	26	30	56	
高木	13	11	24	
中木	30	0	30	
合計(本)	69	41	110	

※生垣本数は含まない

グリーンホールと  
連携して決定していく

グリーンホール

S=1/600 (A3)

パルコ

トリエB館

サウスゲートビル

グリーンホール

グリーンホールと  
連携して決定していく

広場口

中央橋

中央橋

トリエA館

凡例	
	現位置のまま残す樹木
	広場内に1度移植済樹木 広場内に1度移植する樹木
	現在、苗圃にあり 将来広場内に戻す樹木
	新規植栽
	※大高木：H5.0m~H17.0m ※高木：H3.0m~H5.0m未満
	新規植栽
	※中木：H2.0m前後
	常緑樹
	落葉樹
	ベンチ
	生垣
	誘導ブロック
	シエルター
	植込地

落葉樹		常緑樹		合計(本)	
大高木	26	30	56		
高木	13	11	24		
中木	30	0	30		
合計(本)	69	41	110		

※生垣本数は含まない

トイレ設置予定  
箇所なので樹木  
はおかない